



肥田中学校

自己を見つめ 他を思いやる心

本校では、学校教育目標「自己を見つめ 他を思いやる心」のもと、さまざまな教育活動を行っています。地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクール制度を導入し、「地域と学校が願いを共有すること」を大切に地域との連携を深める活動を進めています。さまざまな体験をする中で、地域の方々と関わり合いながら主体性と社会性を高めるとともに、地域への愛着と誇りを育てています。



生徒たちは肥田地区のさまざまな行事に参加しています。地域行事に参加する中で、地域の方の優しさや温かさを感じています。ボランティアとして参加するだけでなく、運営にも積極的に加わり、地域の中で自分たちの力を発揮し社会性を高めています。



自分たちから進んで地域に貢献する活動を大切にしています。生徒会による登校時に行う地域清掃活動や、3年生による地下道清掃を行っています。生徒たちはいつも使わせていただいていることへの感謝を込めて取り組んでいます。

我が校のキラリ先生



長谷部 智巳 先生

本校に赴任して1年目になります。専門教科は理科と体育です。今は理科しか教えていませんが、部活動や朝活動のマラソンで、生徒と一緒に楽しく体を動かしています。週末は公民館祭りなど地域のイベントにも参加させていただいています。生徒の明るく元気に活動する姿や地域の方々の温かさから元気ももらっています。



給食センター掲示板

給食センター (☎54 6195)

笑顔いっぱい「ふれあい給食」

12月17日に泉西小学校3年生を対象に、給食に携わってくださっている生産者の方々と「ふれあい給食」を実施しました。子どもたちは、生産者の方から「今年の作物の出来」「生産工程」「生産における苦労」などを聞いた後、それぞれの食材を使った給食を一緒に会食しました。

ふれあい給食に参加して下さった方々

- ・とうがん生産者 土岐市肥田町 伊納あけみ さん
- ・こまつな生産者 土岐市鶴里町 水野 忠 さん

～子どもたちの感想～

・わたしは野菜があまり好きではないけど、こんなに頑張って育てている人がいるのです。これからは食べたいとおもいました。

この取り組みは、市内の小学校3年生を対象に実施しています。

どこの学校でもたくさんの質問が出て、子どもたちの笑顔があふれていました。給食センターでは、これからも「作ってくれる人の顔がみえる給食」への取り組みを実施していきたいと考えています。



伊納さんがとうがんを見せている様子



水野さんが「小松菜」の種をまく「ウレタン」を見せている様子